

# 令和元年度 学力向上プラン

深谷市立南中学校

R  
分析

## 全国学力・学習状況調査より

- ・国語では基礎的な言語事項や会話の中での役割を答える問題の正答率が高かったが、文脈から推測する問題の正答率が低かった。
- ・数学では反例の意味や3角形の合同条件等は理解しており、短答・選択の設問については回答できている。しかし、事柄が成り立つための理由を説明するなど、長文の設問、説明を求める設問、記述式の設問を苦手としている。
- ・英語では与えられた情報に基づいて説明・回答する問題を苦手としている。

## 埼玉県学力・学習状況調査より

- ・3年生では、国・数・英どの教科に関しても全ての学力層で向上が見られるが、特に下位層の学力が向上している。
- ・1年生は国・数とも正答率で県平均値を下回っており、特に数学は顕著である。

## NRT・NINOより

- ・1年生では数学（算数）の今までの積み残し（分数等）・復習が課題である。



G  
ゴール

## 【令和4年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRT・NINOで偏差値50を上回り、アンダーチーバーをゼロにする。

## 【来年度に向けての数値目標】

(県学力・学習状況調査)

国語	伸びた生徒の割合 (%)			県平均との差 (正答率%)			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
1年		68.2	70.0	-2.9	-2.8	-1.0	7-A	7-A	8-C
2年	63.3	65.7	68.0	-1.1	-0.9	±0	8-B	8-B	8-A
3年	56.1	61.8		-0.5	-1.4		8-A	8-A	
数学	伸びた生徒の割合 (%)			県平均との差 (正答率%)			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
1年		53.5	60.0	-0.4	-5.4	-1.0	7-B	7-C	7-A
2年	75.5	59.4	65.0	-0.1	-3.4	±0	7-A	7-A	8-C
3年	66.1	72.8		-3.8	-1.3		8-C	8-B	

指標名	現状値 [H31(2019)年度]	目標値 [R4(2022)年度]
全国学力学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合	小学校	50.0%
	中学校	55.0%

【次年度に向けての重点計画】

- ・校内のグッドプラクティスを分析・研修し、授業力を高める。
- ・寺子屋学習やSULを有効に使い、継続して下位層の学力向上を図る。
- ・B問題を積極的に授業・定期テストに取り入れる。
- ・リーディングスキルを向上させる取り組みの実施。

<b>8月</b>	校内研修 (本校の各学習状況調査結果等の把握と課題の共通理解)	朝読書・寺子屋の充実	テスト前補習の実施	総合問題やリーディングスキルを意識した授業の実施	夏休み学習会・ステップアップレッスンの実施
<b>9月</b>	教科部会 各教科の課題の確認と取り組み				
<b>10月</b>	全職員で問題を解いてみる				
<b>11月</b>	校内研修(校内のグッドプラクティス)				
<b>12月</b>	学力向上研修(全体・教科部会)				
<b>1月</b>	校内相互授業参観(他教科の学力向上の取組を参観)				
<b>2月</b>	校内研修 (今年度の反省と来年度の取組)				
<b>3月</b>	総合問題を取り入れた期末テスト等の実施				